

氷見：わたくしどもの事務室は、いま府中にあるが、気象庁にないもので、航空気象関係の気候資料として役立つものがかなりある。かなりの部分は micro card になっているので、特別に時間のかかるもの以外なら利用していただきたい。また最近10年の海外の気温と湿度の頻度分布というような、機械をフルに使ったものは、一般の気候表にはまだあまり流れていないと思われるが、必要なら利用していただきたい。

西内：農業に関係したことだが、昼夜別の雨天日数を統計したものは出せないだろうか。野外の作業にとっては、昼の雨と夜の雨は意味が非常にちがうと思うのだが。

荒井：統計課の資料から出すことは出来ると思う。6時から18時までを昼とし、あとは夜として統計をとっている。その他時間別の雨量はカードに掛ければ統計できると思う。

西内：時間別ではなく、昼雨の降る地域と夜雨の降

る地域が農業の方ではほしい。

荒井：気候表にそのようなことを載せることが出来るかどうかは議論しているところだが、資料の問合せなら統計課へおいで下さい。

いろいろと有益なご意見をありがとうございました。今後も気候の利用についてご協力いただきたい。

以上テープレコーダーからの記録は、東京教育大学学生吉村稔君にお願いした、記して感謝する次第である。

(榎根 勇)

発言者所属 発言順

神山 恵三 (気象研究所)

畠山 久尚 (東京管区気象台)

内島善兵衛 (農業技術研究所)

関口 武 (東京教育大学)

西内 光 (大阪府立大学)

菊地原英和 (気象庁統計)

氷見 順一 (極東空軍)

理 事 会 便 り

第2回常任理事会議事録

日 時 昭和37年7月9日(月) 17.00~21.00

場 所 神田学士会館

出帯者 須田・正野・畠山・松本・今井・吉武・村上
神山・岸保・増田・有住・淵各理事(順序不同)

決 議

1. 各事務分担の委員は大部分きまったが本人の了解が必要のものや未決定のものがあるので次回で決定する。
2. 80周年ノート特集号の最終的な項目と執筆者は次回で決定する。
3. 分科会に関しては学術委員と講演企画委員と相談、検討の上次回までに案を出す。
4. 秋季大会に関しては11月中旬東京で開催する旨「天気」7月号に掲載する。
5. 中国気象学者招待に関し、訪日スケジュール案で予算のメドがつけば理事長名で日中友好協会宛正式文書を出す。